

# 目きり天王祭

## きうり天王祭

7/14日  
開催!



須賀川市大町の三丁目会館前に「16番きうり天王祭の由来」の物語ボックスがあります

「物語ボックス」とは、市内の「NPO 法人チャチャチャ 21」がふるさと教育の一環として、須賀川市にゆかりのある偉人や逸話を紙芝居形式で分かりやすくまとめ、市内 24 カ所に設置したものです。



天王様が鎮座する

これが御仮屋!

奉納きゅうりは、例年約8000本!



知ってたつもの

通りには沢山の人が!



7月14日に開催される須賀川市の伝統行事「きうり天王祭」。神様にきゅうりを2本お供えし、護符がわりに1本を持ち帰って食べると、1年間病気にかからないとされ、毎年約5万人もの人出がある大きなお祭りです。こゝまでが、よく聞く「きうり天王祭」のあらまし。ですが、「昔からきゅうり持参でお参りするの当たり前」になってしまっている皆さん、知ってますか? 「きうり天王祭」のホントのところ。

雨がふっても、嵐がきても、**宵は不動の十四日**

最近では、神事や祭礼日を週末や祝日に行うところが増えていますが、生活スタイルが変わり、後継者が不足するなかで何百年も前とおなじ条件で続けていくことが難しいのは当たりまえ。しかし「きうり天王祭」は13日のお迎え祭、14日の宵祭、15日日本祭、16日お送り祭の日取りが、260年以上ずっと不動(明治以前は旧暦表示のため6月です)。「夏の祭りには、梅雨が終わる暑さが本格的になるにつれて流行り出す病を封じ、意味合いがある。そういう背景も含めて守ってきたいんです。」と実行委員の渡邊さん。幸いにも、実行委員会には30代〜50代のメンバーが多くて、春になると早くも祭りにむけて皆の気持ちが高まっていくのが分かります。参拝のピークは14日の宵祭ですが、私たちにとっては3か月前から祭りは始まっているんです。



三丁目(南町)の辻に建てられた御仮屋

そもそもですが、なぜきゅうり?



似てる? 似てない?

この一帯が、昔もいまもきゅうりの産地だから。それが一番の理由ですね。御祭神をお迎える御仮屋を三丁目(南町)に建てるのも、ここに広大なきゅうり畑があったから。ただ、京都の八坂神社界隈では、祭の前にきゅうりを食べない習慣があります。それは神社の五瓜唐花の紋と、きゅうりの断面が似ているから。うです。牛頭天王の信仰は西日本から各地に広がったので、いっしょに伝わった習慣と、この産物が重なりあつたということだと思えます。では、なぜ2本かという「天王様にきちんとお供えしたい」「ご利益をいただきたい」という参拝者の思いから、1本は奉納し、1本は持ち帰って食べるといふしきたりになったんですね。



護符としてきゅうりといっしょにうちわもいただける。

猿田彦命の天狗面は延享元年(1744年)に奉納されたもの

先立つ神 **猿田彦命**も御座します



御祭神をお迎えする御仮屋は三丁目(南町)に建てられますが、通り沿い大町の岡村酒店さんの脇にもう一つ別の御仮屋が建てられます。ここにお迎えるのは、岩瀬神社から御仮屋へと向かう牛頭天王を先導する天狗の形相の猿田彦命(さるたひこのみこと)。猿田彦命は、日本神話に登場する導き(みちひらき)の神様。天王様とあわせてお詣りして、一年のご利益をパワーアップさせてください。

猿田彦命



大町の御仮屋では限定ご朱印も頒布

「インドの祇園精舎(2500年前、お釈迦様が説法した場所)の守護神」とも言われているようすが、牛の頭に斧を構えた荒ぶる姿であらわされることから、疫病を防ぎ鎮めてくれる神様として日本各地で崇められています。この数年は世界中がコロナ禍で大変な思いをしましたが、昔は、一度「はやり病」が広がったら神仏にすがることしかできませんでした。牛頭天王は、そういう時代に信仰の対象として各地に広がったようです。よく知られているのが京都の八坂神社(祇園社)です。有名な祇園祭は、牛頭天王に疫病を鎮めていただくお祭りなんです。「きうり天王祭」のご祭神もその一柱で、祭事の4日間以外、旭ヶ岡公園(朝日稲荷神社境内)にある岩瀬神社にお祀りされています。



牛頭天王は神道におけるスサノオ神と団体であるとされてます

牛頭天王ってだれですか?



「きうり天王祭」  
実行委員会代表  
渡邊達雄さん



今年の7月14日は祝日前の日曜日! 浴衣をきて、きゅうり持参で楽しんで!

岩瀬神社の氏子である私たちにとって、「きうり天王祭」は特別な祭りで、大切な神事。職人町である三丁目(南町)ならではの、協賛のお願いや直会、御仮屋建てからお送り後の清掃まで、町のみんなが力をあわせて守り続けてきた伝統行事です。260年以上の歴史があるとはいえ以前は小さな祭礼でしたが、いまは約1キロの通りに130を超える夜店が立ち、5万〜6万人の人出でにぎわう須賀川の夏を代表する祭りの一つになりました。天王祭は数多くありますが、きゅうりを奉納するのならわしは全国でも珍しいもの。これからの一年、無病息災で過ごせるよう、家族みんなでお詣りにいらして下さい。

### 令和6年 天王祭日程・概要

お問合せ 平半染工株式会社 0248-75-6111

開催日 7月14日(日) 開催場所 須賀川市南町、大町、松明通り  
開催時間 13:00~21:00 駐車場 須賀川市役所他、周辺の有料パーキングをご利用ください

